

TUFREQ

サイクルアタッチメント（正立タイプ）

AS0 取扱説明書

適合車種：TUFREQベースキャリア装着車

はじめに

このたびはTUFREQ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、お客様に常に本製品を最良の状態でご使用いただくため
又、正しく理解いただくためのものです。本製品をお使いになる前には、必
ずこの取扱説明書をお読みください。

この取扱説明書は、ご使用になる方がいつでも読むことができるように大切に保管
してください。

この取扱説明書について、ご不明な点がございましたら記載のお問い合わせ先にご連
絡ください。

- この製品を装着する際は、必ず **TUFREQ** ベースキャリア（別売）に
取付けてください。





目次

●はじめに.....	1	●自転車の積載方法.....	9～10
●必ずお読みください.....	2	1.積載準備.....	9
本書に記載する記号について.....	2	2.自転車の積載.....	9
ご注意とお願い.....	2～4	3.自転車の固定.....	10
●取付完成図.....	5	4.タイヤの固定.....	10
●使用工具の準備.....	5	●取付後の確認.....	11
●構成部品の確認.....	5	●取扱方法.....	12
●取付準備.....	6	1.自転車積載について.....	12
1.取付ステーの固定.....	6	●取外方法及び保管.....	13
●バーへの取付.....	7～8	●再取付時の注意.....	14
1.ボルト類及び固定金具（A）の取外し.....	7	●お問合せ先.....	14
2.ノブ類及び固定金具（B）の取外し.....	7		
3.前側の固定.....	8		
4.後側の固定.....	8		

必ずお読みください

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次の通りです。

 警告	安全のため必ず守って頂きたいこと 守らないと生命に危険または重大な損害につながるおそれがあります。
 注意	安全のため必ず守って頂きたいこと 守らないと損害または事故につながるおそれがあります。
 アドバイス	お車のため必ず守って頂きたいこと 守らないと車両損害につながるおそれや正規機能を確保できないことがあります。
 知識	快適にお車を使っていただくために知っておいていただきたいこと。

ご注意とお願い

本製品を安全に正しくご使用いただくために、次のことを必ず守ってください。

注意

(1) 自転車積載時の注意

- 本製品は、自転車積載専用のアタッチメントです。それ以外のものは積載できません。
- 本製品を使用する際は積載量を守り、過積載しないでください。

$$\boxed{\text{ベースキャリアの最大積載量}} - \boxed{\text{アタッチメントの自重 AS0: 3.2 kg}} = \boxed{\text{本製品の最大積載量}}$$

- ベースキャリアの最大積載物重量（別紙取扱説明書参照）を確認し、過積載しないでください。過積載は車両ルーフの変形、積載物の落下等の原因となりますので厳守してください。
- 積載物の大きさは下記の制限を超えないようにしてください。

積載物の大きさ（道路交通法施行令第22条3項）	
長さ	: 自動車の長さにその10分の1の長さを加えたもの
幅	: 自動車の幅
高さ	: 3.8mからその自動車の積載する場所の高さを減じたもの (軽自動車は2.5mから)

- 特種なフレーム形状又は、ダウンチューブが異形（楕円、角等）のもの、直径が55mmを超える自転車は積載できません。
- ベースキャリアのバーの前後間隔が550mm未満での取付け及び自転車の積載はしないでください。

⚠️注意

- 自転車にアクセサリ類が付いている場合はアクセサリを外し、積載してください。
- 自転車はベースキャリアの各脚に対して均等にかかるように積載してください。
- 自転車の積載は、ドアの開閉、人の乗り降り、トランク、ボンネット等の開閉、荷物の出し入れに支障のない積み方にしてください。また、自転車の積み降ろしには頭上における動作となる為、十分安全に注意し、2人以上で行なってください。

(2) 走行前の注意と確認

- 初期ユルミが発生する場合がありますので増し締めを実施してください。車両のボルト類の点検とフックの引っかかり具合等を確認してください。
(100 km程度走行時)
- 走行時(特に悪路走行等)、キャリア及び自転車のネジ部にユルミが発生する場合がありますので、走行前と走行後又自転車積載前と積載後には、必ずボルト、ナット類がゆるんでいないか点検し、ゆるみがあれば増し締めをしてください。
- キャリア装着時、ルーフアンテナがキャリア及び自転車に干渉しない事を確認してください。走行中ルーフアンテナがキャリア及び自転車に干渉し、異音が発生する場合がありますのでご注意ください。

(3) 走行中の注意と確認

- キャリア装着時、急ハンドル、急発進、急ブレーキは避け、運転には充分ご注意ください。特に急カーブや悪路走行、強い横風、向かい風を受ける場合は運転特性を損なう事がありますのでスピードを十分に抑えて走行してください。
- キャリア装着時には、トンネル、立体駐車場等の高さ制限がある場所では、制限内であることを確認してください。

(4) 取り扱い上の注意と確認

- キャリア装着時、バックドア・トランクリッド等の開閉にご注意ください。
- キャリア装着時、サンルーフの作動(チルトアップ及び開閉等)は行わないでください。

(5) 洗車時の注意

- キャリア装着時の自動洗車機の使用は、キャリアの脱落・ルーフの変形その他の不具合が起こる場合がありますのでおやめください。キャリアを外すか手洗いしてください。

⚠注意

(6)メンテナンスについて

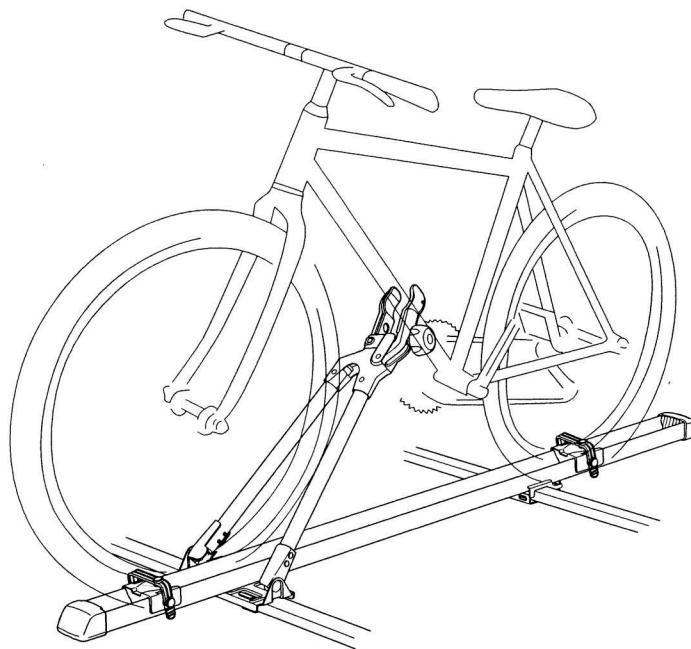
- キャリアの塗装及びコーティングにキズ等が付きましたら、錆びの原因となりますので、タッチアップペイント等でキズ等を修正してください。
- 汚れを拭き取る場合は、中性洗剤を使用して柔らかい布か、スポンジで拭き取ってください。尚、レザーワックス、タイヤワックス及びシンナー等、有機溶剤は使用しないでください。
- ボルト、ナット類は、時々動かしてください。長期間放置しますと、異物等により、作動しなくなる場合があります。

(7)その他の注意

- 本製品を改造しての取付けは、絶対に行わないでください。
- 本取扱説明書に記載されていない取付け及び使用方法は絶対に行わないでください。

- 本製品の取付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら商品購入先の販売店にお問い合わせいただき、ご理解された上でお取扱いください。
- 記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

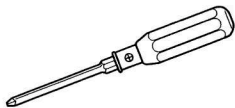
取付完成図



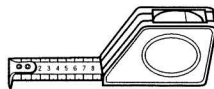
使用工具の準備

作業を始める前に必ず用意してください

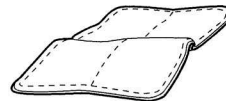
・+ドライバー



・スケール



・ウェス (柔らかい布)



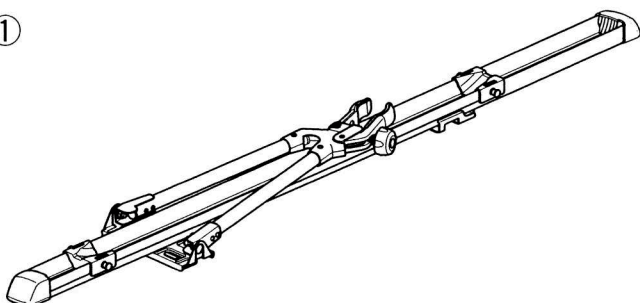
構成部品表の確認

⚠注意

- 前後左右、位置指定のある部品の組付けは、位置に注意してください。
この場合の前後とは、車両の前後に準じます。左右とは、運転席からみた、車両進行方向に対してのものです。
- 構成部品表の部品が全部あるか、また汚れ、キズ、損傷がないか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のお問い合わせ先にご連絡ください。

No	部 品 名	数量	No	部 品 名	数量
①	サイクルアタッチメント本体	1	③	取扱説明書	1
②	ゴムバンド	2			

①



②



③

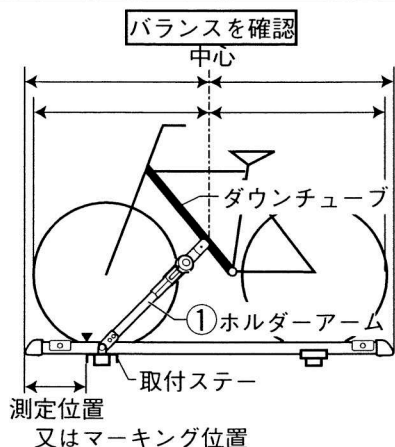
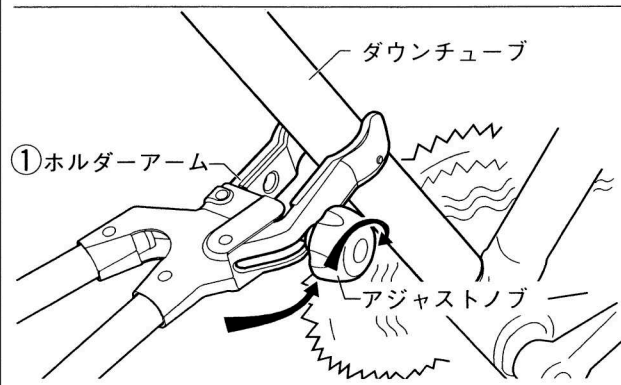
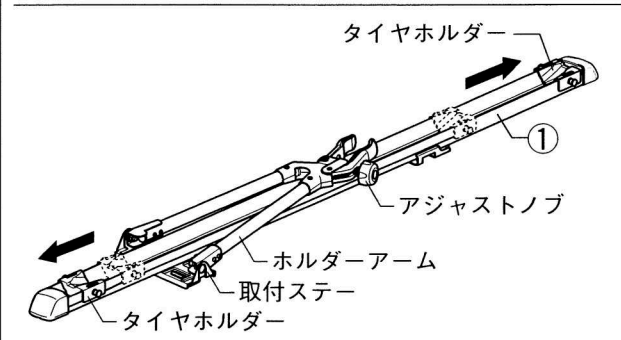
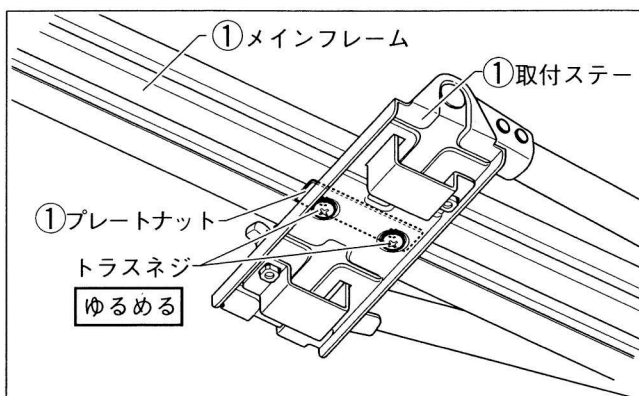


取付準備

⚠注意

- 障害物のない安全を確保できる場所で行ってください。
- 公道での作業は絶対にしないでください。
- 商品の取扱いは、落としたりキズをつけないよう十分に注意してください。

1.取付ステーの固定



(1) サイクルアタッチメント本体①に組付けてある取付ステー裏側のトラスネジをゆるめます。

(2) 取付ステーのアジャストノブをゆるめ、ホルダーアームを開きます。

(3) タイヤホルダーを前後にスライドさせ、地上にサイクルアタッチメント本体①を置きます。

(4) 自転車をサイクルアタッチメント本体①に載せ、取付ステーの位置を調整し、自転車のダウンチューブをホルダーアームではさみ込みます。

📖 知識

●ホルダーアームの使い方は、P9～10の「自転車の積載方法」を参照ください。

(5) 自転車とサイクルアタッチメント本体①の前後バランスを確認し、取付ステー位置を測定またはマーキングします。

(6) 自転車をサイクルアタッチメント本体①より降ろし、測定位置を確認し、(1)で緩めたトラスネジを締め込み固定します。

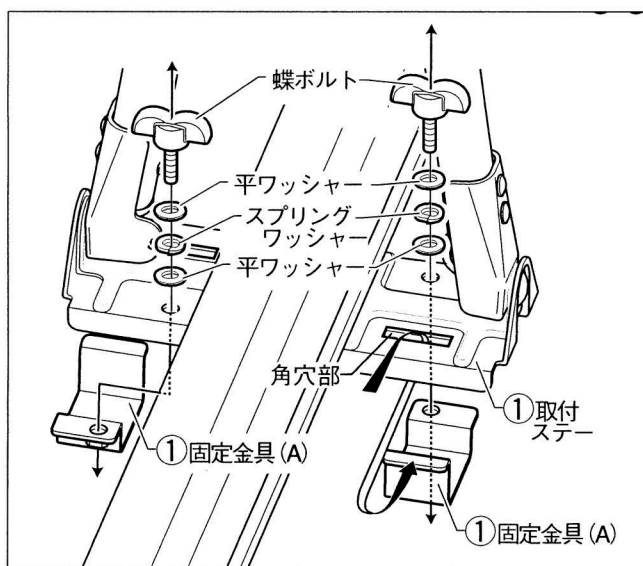
参考締付トルク：5.0 N・m
(0.5 Kgf・m)

バーへの取付

⚠注意

- 自転車1台積載する場合、のアタッチメントの取付けは車両左側に取付けてください。又、アタッチメントを2台装着の場合は、『取扱方法』の頁をご覧になって取付けてください。
- 取付作業は、平らでドアの開閉に支障のない安全を確保できる広い場所で行ってください。
- 公道での作業は絶対にしないでください。
- 商品の取扱いは、落下したりキズをつけないよう十分に注意してください。

1. ボルト類及び固定金具 (A) の取外し

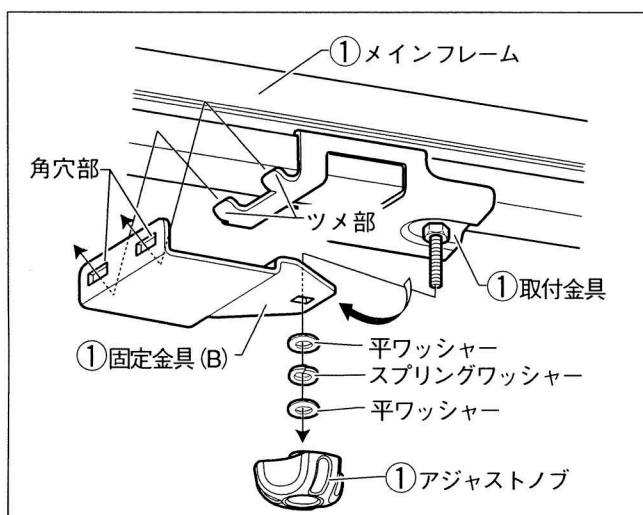


- (1) サイクルアタッチメント本体①の取付ステーから、蝶ボルト、平ワッシャー、スプリングワッシャー、固定金具 (A) を外します。
(2ヶ所)

⚠注意

- 外した部品はなくさない様、ご注意ください。

2. ノブ類及び固定金具 (B) の取外し



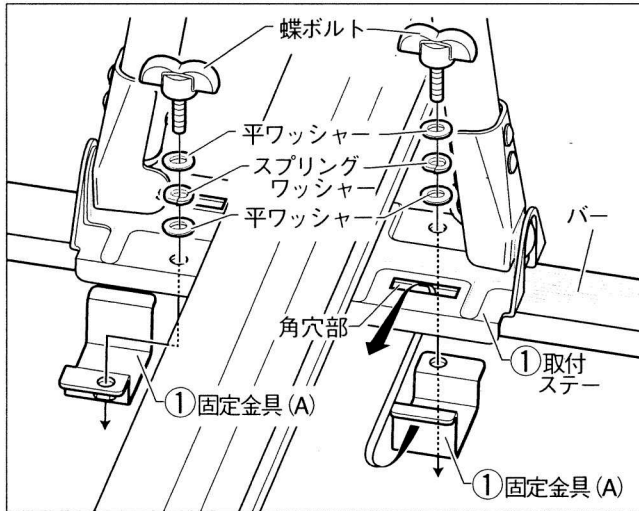
- (1) サイクルアタッチメント本体①の取付金具から、アジャストノブ、平ワッシャー、スプリングワッシャー、固定金具 (B) を外します。
(1ヶ所)

⚠注意

- 外した部品はなくさない様、ご注意ください。

バーへの取付

3.前側の固定



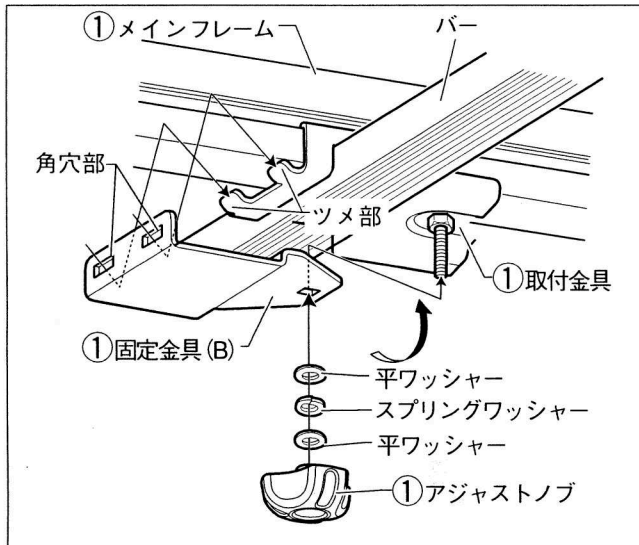
⚠注意

- バーの前後間隔が550mm未満の場合は取り付けできません。

- (1)バーの清掃をします。
ウェスに水をふくませ、ホコリ、汚れをよく拭き取り、乾燥させてください。
- (2)車両左側のバー上にサイクルアタッチメント本体①を載せます。
- (3)サイクルアタッチメント本体①の取付ステーの角穴部に、外してある固定金具(A)を引っ掛け、平ワッシャー、スプリングワッシャー、蝶ボルトで締め付け、固定します。
(2ヶ所)

参考締め付トルク： 3.0 N・m
(0.3 Kgf・m)

4.後側の固定



- (1)サイクルアタッチメント本体①取付金具のツメ部を、外してある固定金具(B)の角穴部に通し、平ワッシャー、スプリングワッシャー、アジャストノブで締め付け、固定します。
(1ヶ所)

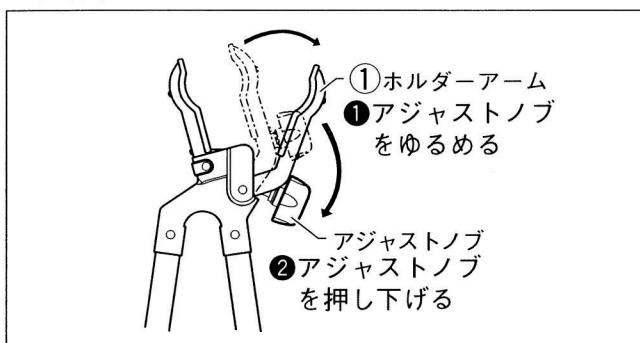
参考締め付トルク： 3.0 N・m
(0.3 Kgf・m)

自転車の積載方法

⚠注意

- 自転車をアタッチメントに積載する際は、必ず2人以上で安全に効率良く行ってください。
- 公道での作業は絶対にしないでください。
- 自転車をアタッチメントに積載する際は、車両及びベースキャリアに落下したりキズをつけないよう十分に注意してください。
- 自転車にアクセサリ類が付いている場合は、必ず外してから積載してください。

1. 積載準備

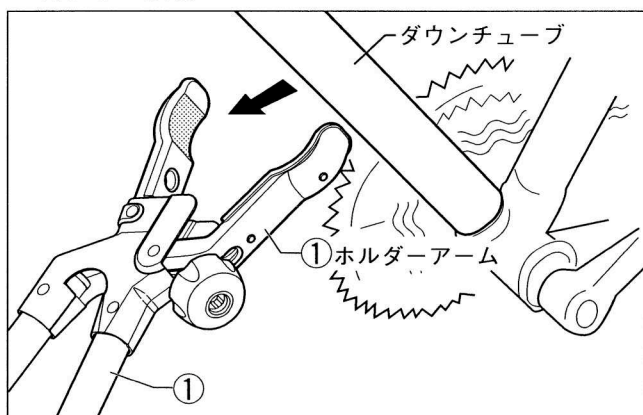


- (1) サイクルアタッチメント本体①のホルダーアームを左図①②の手順で開きます。

知識

- ホルダーアームは、アジャストノブを上下に移動させることで、開閉作業が素早く行えます。

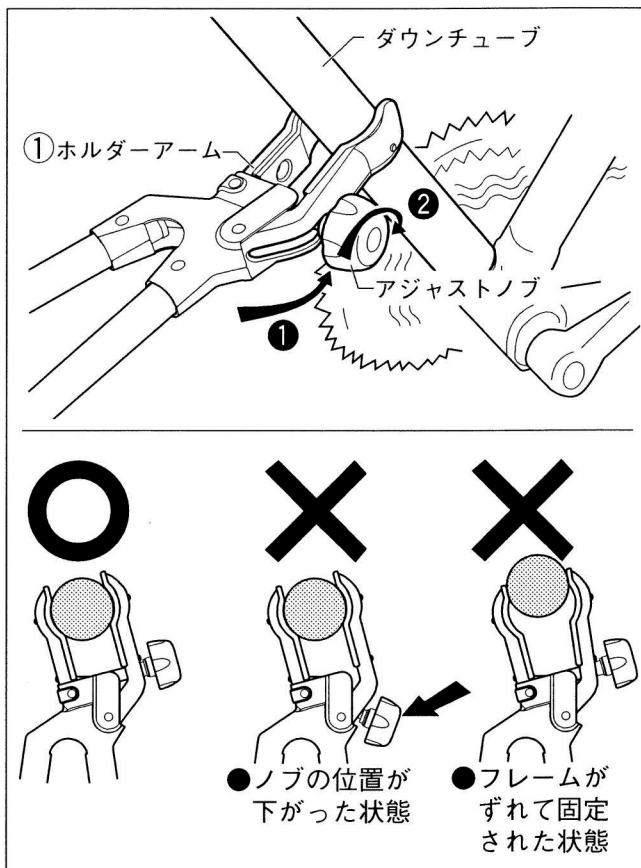
2. 自転車の積載



- (1) サイクルアタッチメント本体①のメインフレームに自転車を載せます。
- (2) 自転車のダウンチューブが、ホルダーアーム(左図グレー部)に納まるように、自転車の位置を調整します。

自転車の積載方法

3. 自転車の固定

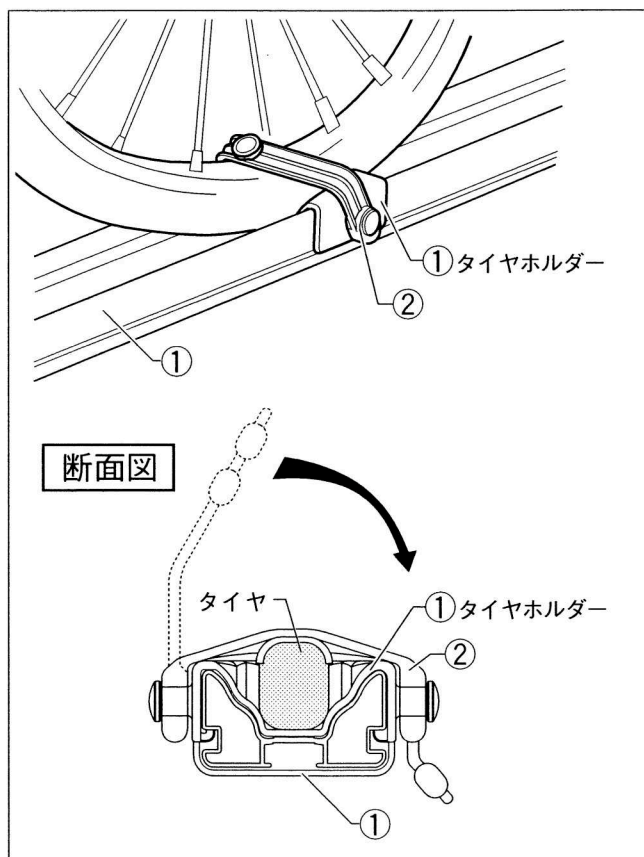


⚠注意

●ホルダーアームにダウンチューブが正しく固定されていないと、走行中自転車のズレ、落下等の原因となり大変危険です。確実に固定されていることを確認してください。

- (1) サイクルアタッチメント Assy ①ホルダーアームのアジャストノブを上へスライドさせ、ダウンチューブをはさみ込みます。
- (2) 自転車とサイクルアタッチメント本体 ①の前後のバランスを確認し、ホルダーアームのアジャストノブを完全に締込み、固定します。

4. タイヤの固定



- (1) サイクルアタッチメント本体 ①のタイヤホルダーを前・後輪に接するまでスライドさせます。
- (2) タイヤホルダーの凸部にゴムバンド ②を取付け、前・後輪を固定します。

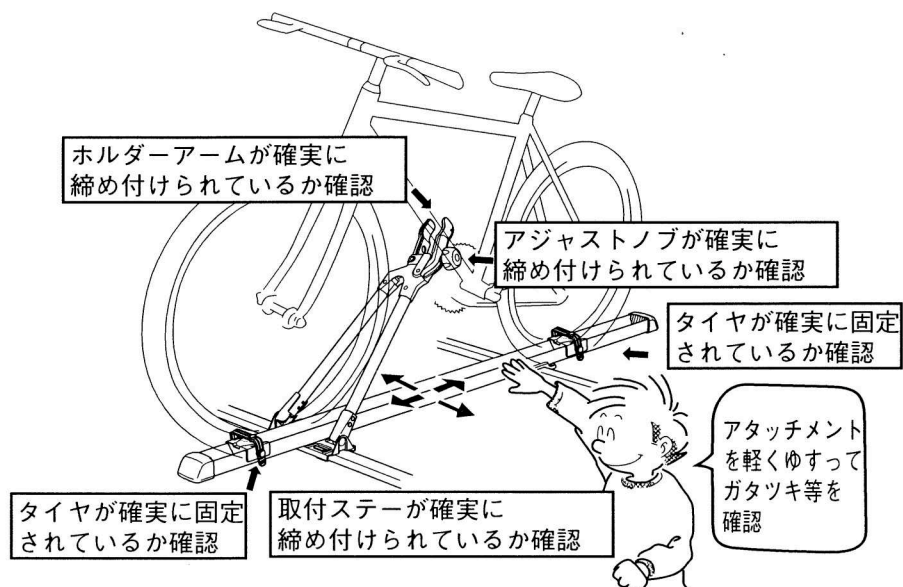
取付後の確認

⚠️注意

●取付作業終了後、取付状態の確認をしてください。取付けが正しくできていない状態でご使用になりますと脱落等の事故につながるおそれがありますので、必ず下記の要領で確認作業を行ってください。

(1)取付状態及びボルト類の締め付け状態を必ず再確認をしてください。

- 1.ホルダーアームが確実に締め付けられているか確認。
- 2.アジャストノブが確実に締め付けられているか確認。
- 3.取付ステーが確実に締め付けられているか確認。
- 4.タイヤ（前・後輪）が確実に固定されているか確認。

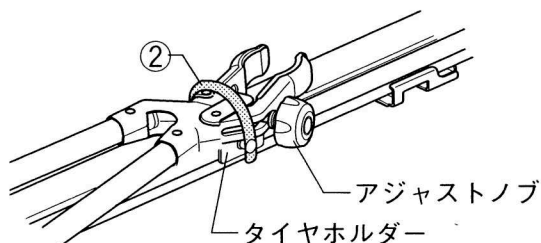


(2)アタッチメント及びベースキャリアに異常がないか、軽くゆすりガタツキ等がないことを確認してください。

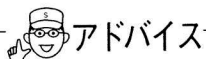
(3)上記(1)～(2)において異常が認められた場合、「取付準備」、「バーへの取付」、「自転車の積載方法」の項目に戻り、必ず再度作業を行ってください。

🧐アドバイス

●自転車を積載しない場合は、ホルダーアームがガタ付かないよう、タイヤホルダーとゴムバンド②で固定してください。



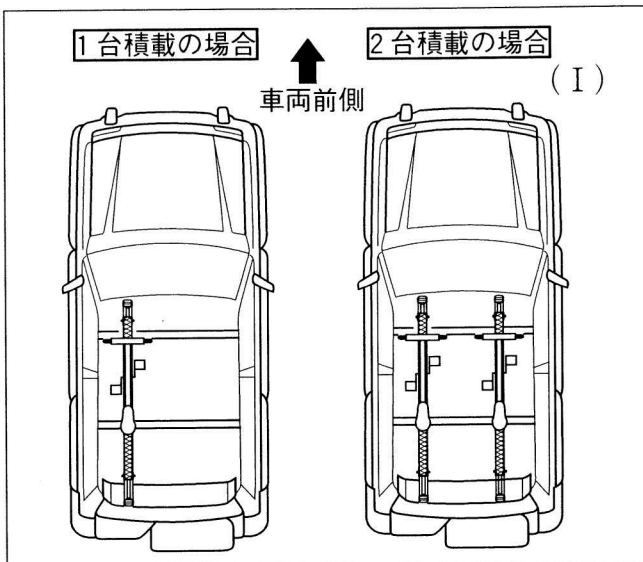
取扱方法



アドバイス

- アタッチメントを2台装着する場合は、下図をご覧になり正しくアタッチメント及び自転車を装着してください。

1. 自転車積載について

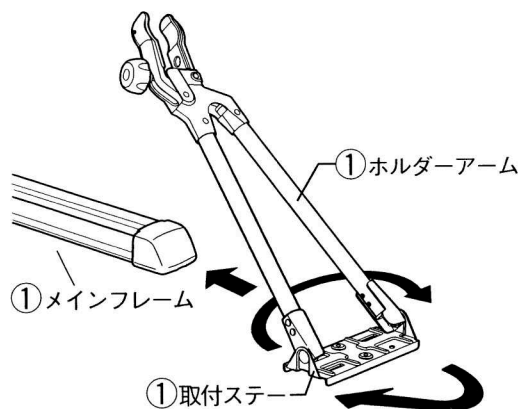


※自転車1台積載の場合

- ・車両左側に装着します。

※自転車2台積載の場合 (I)

- ・自転車を2台同一方向に並べて装着します。

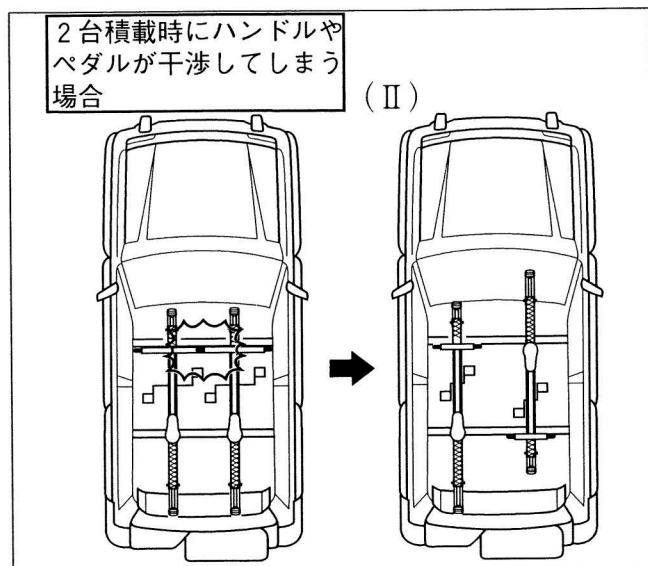


①取付ステーの向きを変える



アドバイス

- 自転車を同一方向に並べて積載する場合、右側に装着するアタッチメントの、アジャストボルトの向きを車両外側に向くようにしますと、自転車の固定作業が行い易くなります。必要に応じて、アジャストボルトの向きを調整してください。



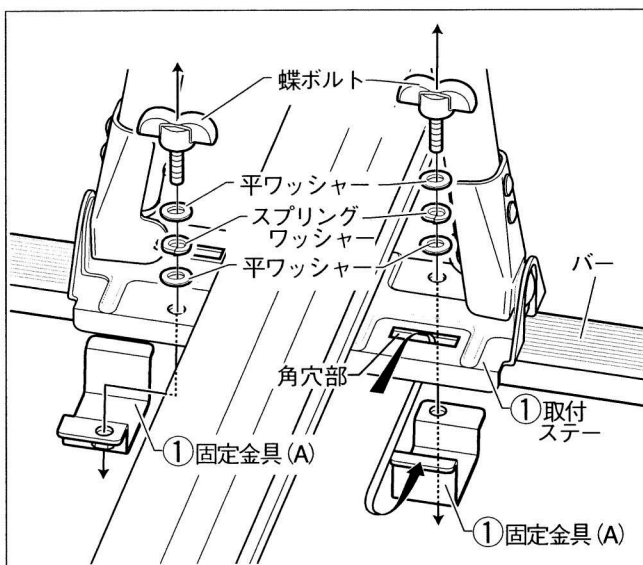
※自転車2台積載の場合 (II)

- ・自転車を2台同一方向に向けて装着し、ハンドルやペダルが干渉する場合は、アタッチメントの片方を逆向きに装着します。

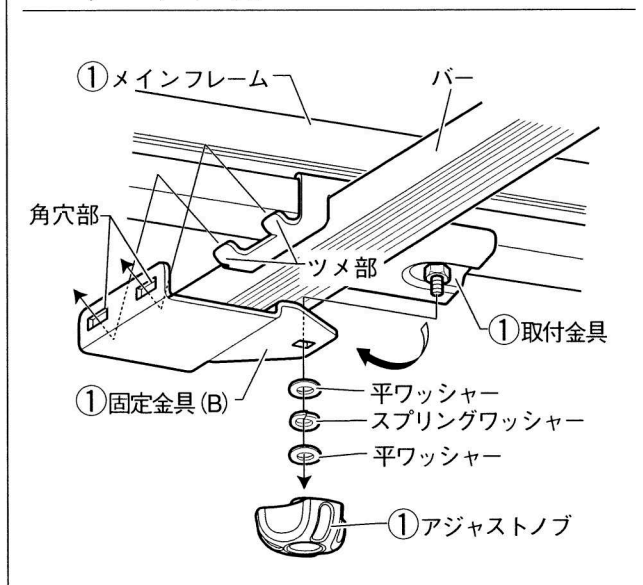
取外方法及び保管

アドバイス

- 取外しの際は2人以上で作業されますと安全に効率よく作業が行えます。
- 取外しの際、車両及びベースキャリアにキズを付けないよう注意してください。
- アタッチメントを外して保管する場合はきれいに清掃し、新聞紙等にくるみ、水気のない所に保管してください。
- 組付けてある部品は分解せず、サイクルアタッチメント本体①のメインフレームに組込んだまま保管してください。
- ゴムバンド②は紛失しないようにしてください。
- 再取付のために本書も一緒に保管してください。



- (1) 自転車をアタッチメントから降ろしてください。
- (2) 蝶ボルト、平ワッシャー、スプリングワッシャーをゆるめて外し、サイクルアタッチメント本体①取付ステーの角穴部より固定金具(A)を外します。(2ヶ所)



- (3) アジャストノブをゆるめ、平ワッシャー、スプリングワッシャーを外し、取付金具から固定金具(B)を外します。(1ヶ所)
- (4) サイクルアタッチメント本体①をバーより降ろします。

再取付時の注意

⚠注意

- 再取付けの際は全ての構成部品がそろっていること及び損傷が無いか確認してから本書に従って作業してください。部品の紛失・損傷がある場合には商品購入先の販売店にお問い合わせいただき、部品の補充をしてください。

お問合せ先

- 本製品及び補修部品の仕様と外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本品についてのご不満、ご希望、ご意見などがございましたら、本書記載のお問合せ先へお問合せください。なお、本書記載事項を守らなかった為に発生した不具合・事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 部品の紛失・損傷の場合には、商品購入先の販売店又は、本書記載のお問合せ先にお問い合わせください。

製造・販売元
お問合せ先

SEIKOH
精興工業株式会社

〒134-0091

東京都江戸川区船堀4-9-10

☎ (03) 3687-5551(代)

FAX (03) 3680-7577

URL <http://www.seikokogyo.co.jp>